

### 3-2 防災教育推進フォーラム調査結果【宮城会場】

防災教育推進フォーラムにおいて行ったアンケート調査結果を取りまとめる。なお調査は、アンケート用紙への記入形式で行う。調査結果については次ページ参照。

## 防災教育推進フォーラム[宮城]に対する アンケート調査結果

防災教育推進フォーラム(宮城県)にて「再来する宮城県沖地震に備えて」に関するアンケート調査を行った結果、下記のような結果となりました。

調査件数： 109件(参加数162人、回収率67%)

所属：

(大分類)

個人	18
民間企業	41
教職員	7
学生	0
研究機関	0
地方公共団体	31
国の行政機関	5
消防団	1
水防団	0
自主防災組織	7
その他防災団体	3
無回答・不明	19

民間企業(小分類)

民間・自営	2
団体(防災関係)	12
団体(防災関係以外)	8
無回答・不明	19

教職員(小分類)

大学	2
高校	1
中学	0
小学	0
専門教科	1
無回答・不明	3

専門教科にのみ記載があるもののみとする。  
教職員の専門教科(学校分類欄にも記載あり含め)

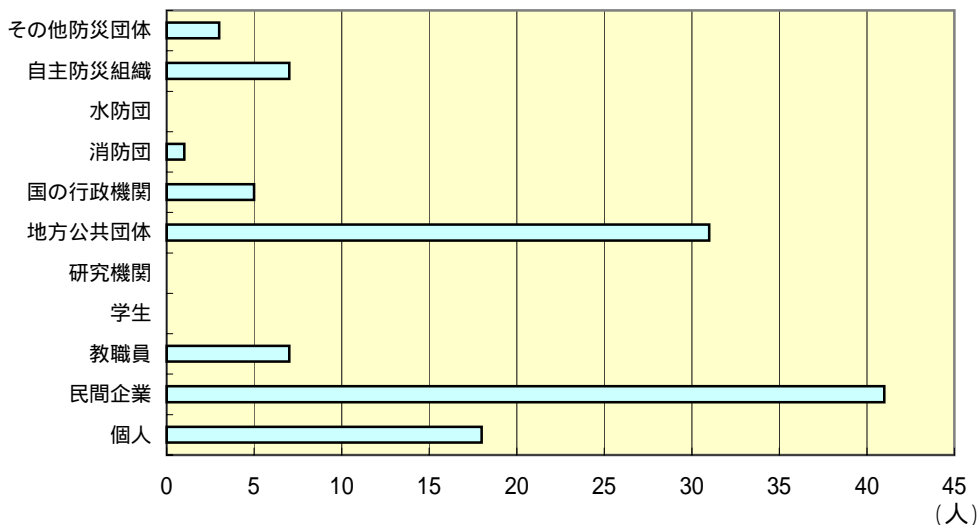
地方公共団体(小分類)

防災関係	24
防災関係以外	7

・社会心理学、養護学校(各1名)、

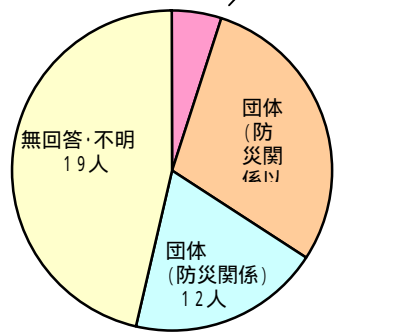
国の行政機関(小分類)

防災関係	3
防災関係以外	2

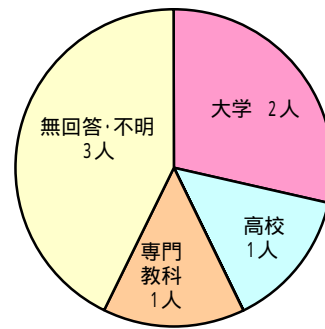


大分類においては半数以上が、民間企業と地方公共団体であった。

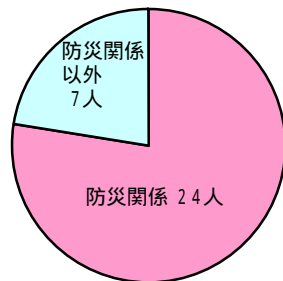
民間企業(小分類)



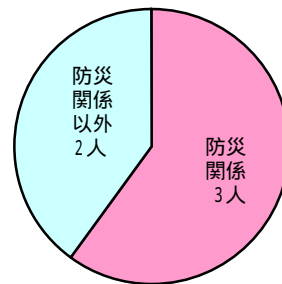
教職員(小分類)



地方公共団体(小分類)



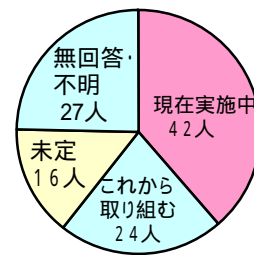
国の行政機関(小分類)



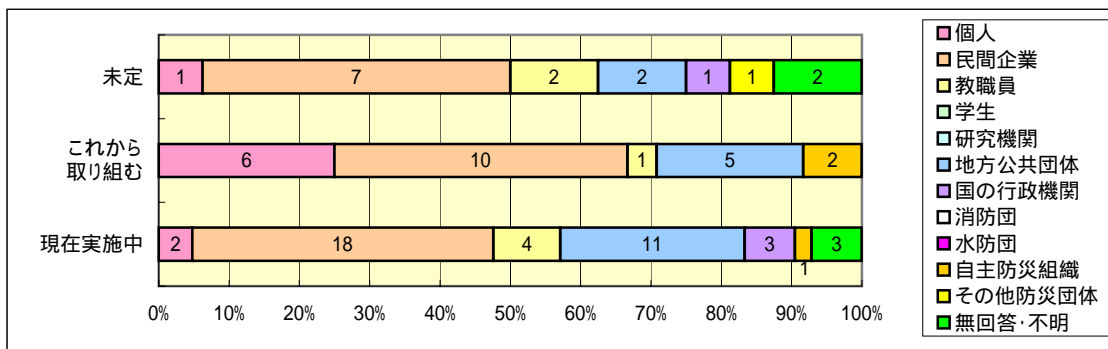
防災教育:

現在実施中	42
これから取り組む	24
未定	16
無回答・不明	27

「現在実施中」という回答が最も多かった。



防災教育(所属とのクロス集計):



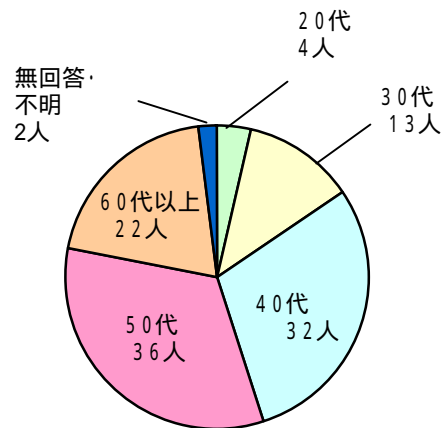
	現在実施中	これから取り組む	未定
個人	2	6	1
民間企業	18	10	7
教職員	4	1	2
学生	0	0	0
研究機関	0	0	0
地方公共団体	11	5	2
国の行政機関	3	0	1
消防団	0	0	0
水防団	0	0	0
自主防災組織	1	2	0
その他防災団体	0	0	1
無回答・不明	3	0	2

「現在実施中」、「これから取り組む」、「未定」共に民間企業の割合が多かった。また、「これから取り組む」と回答した個人の割合もある事から、個人においてもこれから防災教育み取り組もうとしていることが伺うことができる。

年齢：

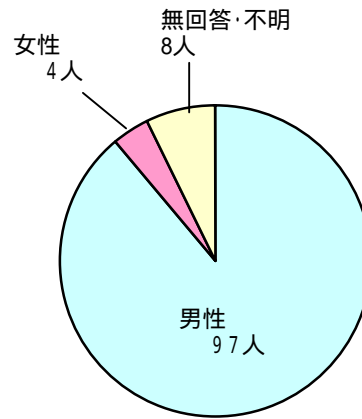
10代	0
20代	4
30代	13
40代	32
50代	36
60代以上	22
無回答・不明	2

年齢は、40代、50代が多かった。



性別:

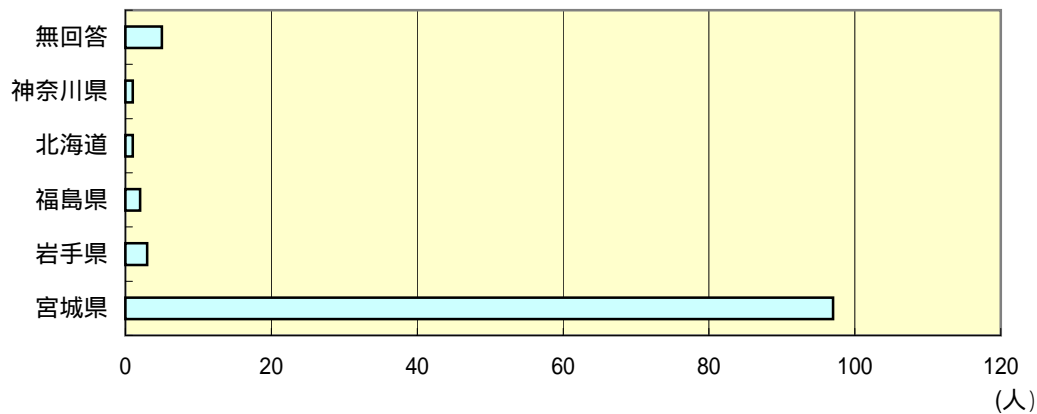
男性	97
女性	4
無回答・不明	8



圧倒的に男性が多かった。

住所:

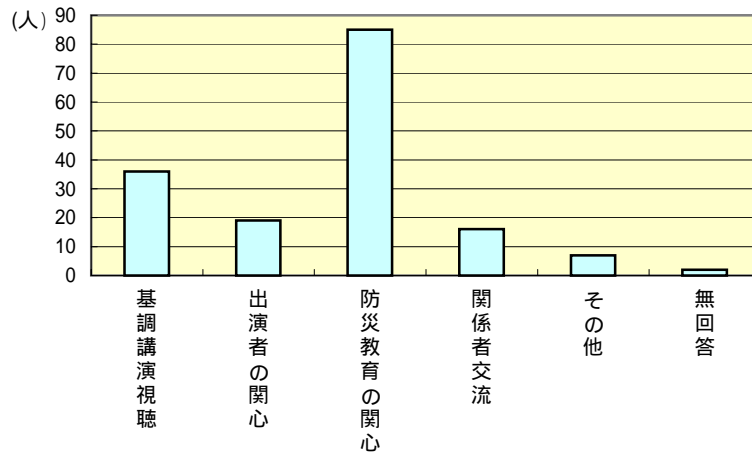
宮城県	97
岩手県	3
福島県	2
北海道	1
神奈川県	1
無回答	5



参加者の大半が宮城県からの参加であった。

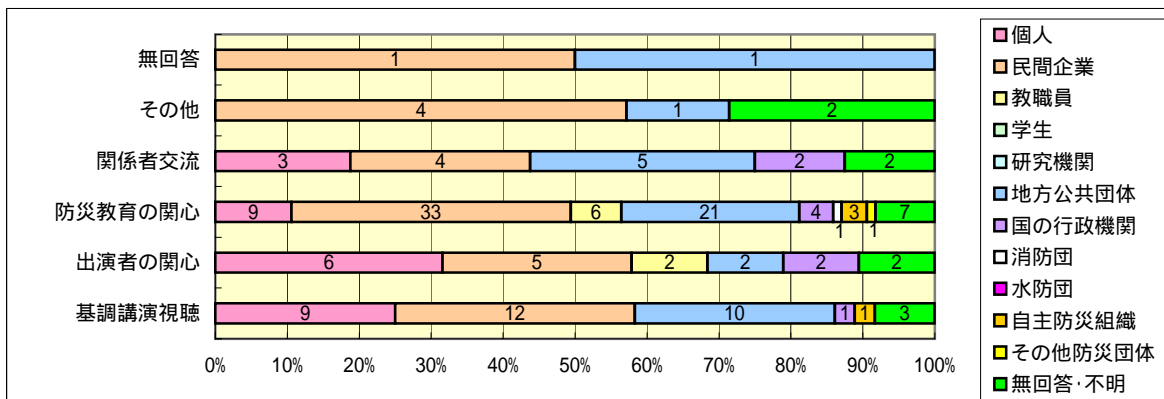
本日の防災フォーラムに参加した理由は、以下のどれですか。【複数選択可】

基調講演視聴	36
出演者の関心	19
防災教育の関心	85
関係者交流	16
その他	7
無回答	2



防災フォーラムに参加した理由として、「防災教育の関心」という理由が多かった。

(所属とのクロス集計)



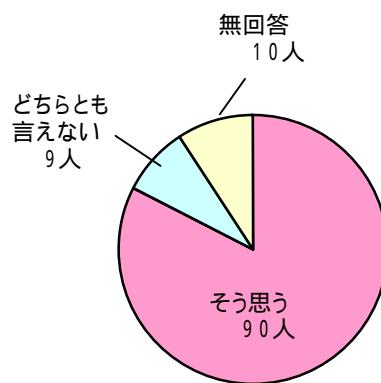
	基調講演視聴	出演者の関心	防災教育の関心	関係者交流	その他	無回答
個人	9	6	9	3	0	0
民間企業	12	5	33	4	4	1
教職員	0	2	6	0	0	0
学生	0	0	0	0	0	0
研究機関	0	0	0	0	0	0
地方公共団体	10	2	21	5	1	1
国の行政機関	1	2	4	2	0	0
消防団	0	0	1	0	0	0
水防団	0	0	0	0	0	0
自主防災組織	1	0	3	0	0	0
その他防災団体	0	0	1	0	0	0
無回答・不明	3	2	7	2	2	0

「基調講演視聴」では民間企業、「出演者の関心」では個人、「防災教育への関心」では民間企業、「関係者交流」では地方公共団体の割合が多かった。

- 1 本日のフォーラムの内容は参考になりましたか。

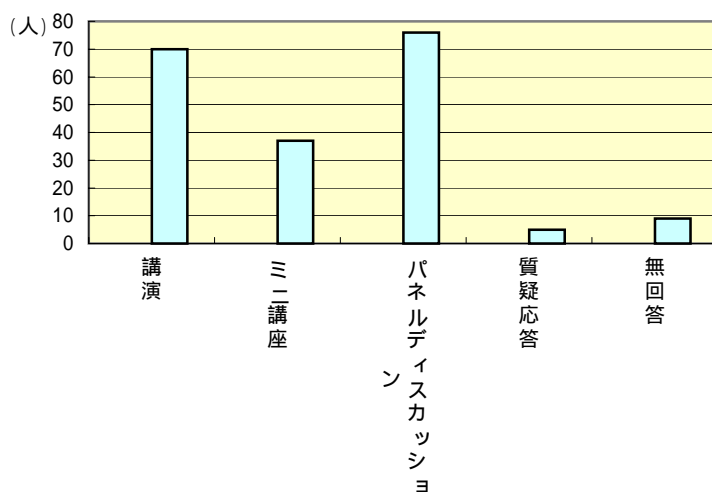
そう思う	90
そう思わない	0
どちらとも言えない	9
無回答	10

「そう思う」(参考になった)という回答が多く、「そう思わない」という回答は0(ゼロ)であった。



- 2 本日のフォーラムの内容は、参考になったものはどれですか。【複数選択可】

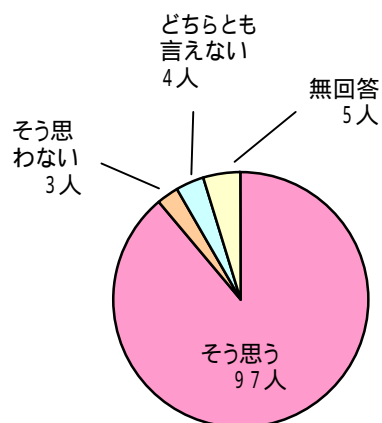
講演	70
ミニ講座	37
パネルディスカッション	76
質疑応答	5
無回答	9



特にパネルディスカッションと講演が参考になったという回答が多かった。

今後とも、防災教育推進フォーラムの開催を必要と思われませんか。

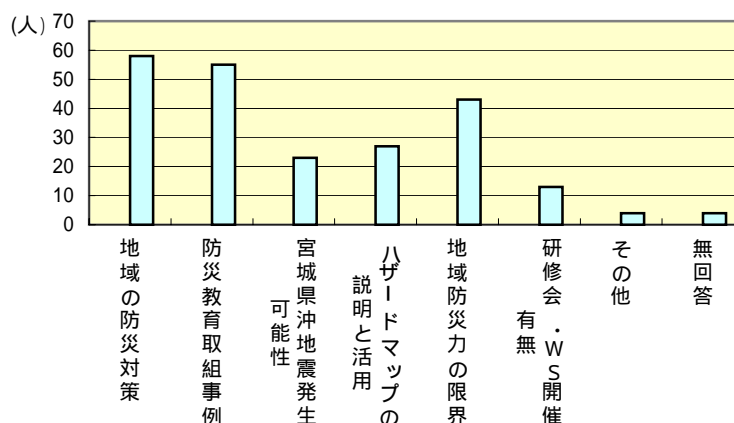
そう思う	97
そう思わない	3
どちらとも言えない	4
無回答	5



「そう思う」という回答が多かった。

今後、防災教育フォーラムで聞きたい内容はありますか。【複数選択可】

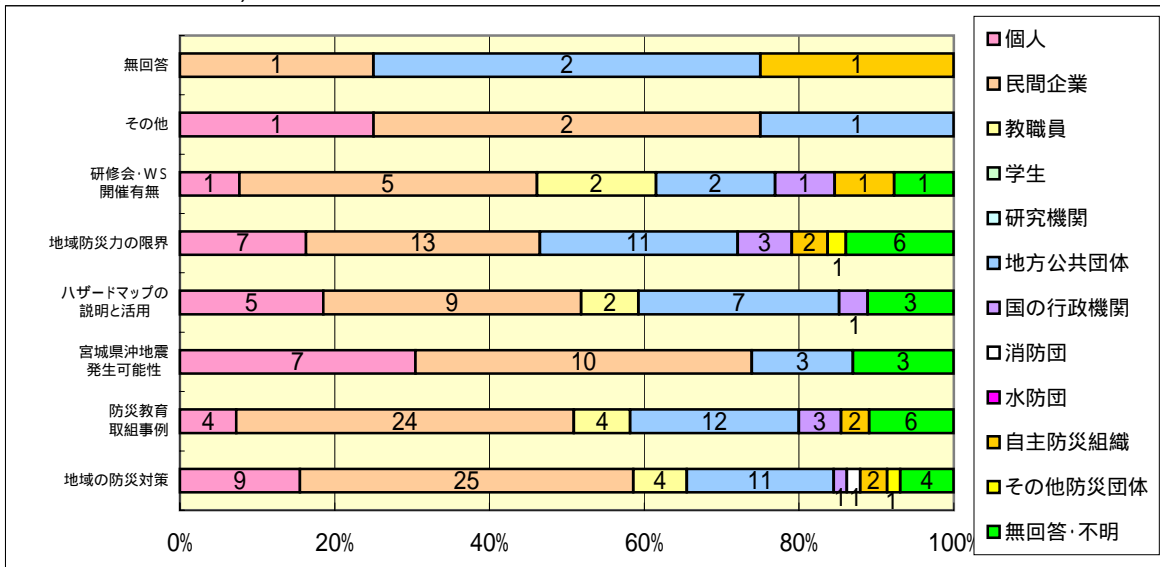
地域の防災対策	58
防災教育取組事例	55
宮城県沖地震発生可能性	23
ハザードマップの説明と活用	27
地域防災力の限界	43
研修会・WS開催有無	13
その他	4
無回答	4



「地域の防災対策」や「防災教育取組事例」の回答が同じくらい多かった。



(所属とのクロス集計)



	地域の防災対策	防災教育取組事例	宮城県沖地震発生可能性	ハザードマップの説明と活用	地域防災力の限界	研修会・WS開催有無	その他	無回答
個人	9	4	7	5	7	1	1	0
民間企業	25	24	10	9	13	5	2	1
教職員	4	4	0	2	0	2	0	0
学生	0	0	0	0	0	0	0	0
研究機関	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体	11	12	3	7	11	2	1	2
国の行政機関	1	3	0	1	3	1	0	0
消防団	1	0	0	0	0	0	0	0
水防団	0	0	0	0	0	0	0	0
自主防災組織	2	2	0	0	2	1	0	1
その他防災団体	1	0	0	0	1	0	0	0
無回答・不明	4	6	3	3	6	1	0	0

「地域の防災対策」、「防災教育取組事例」共に民間企業の割合が多かった。

フォーラム全般に関する意見や質問、並びに現在防災教育に関する取組みを行っている方、或いはこれから取組みを考えておられる方は、その取組み内容などについて、ご自由にお書き下さい。

## フォーラム全般についてのご意見・ご感想 (概要)

- ・各団体、組織の様々な活動、取組みが分かり良かったと思う。
  - ・伊藤会長の進め方、説明が素晴らしかった。
  - ・次回も参加させて頂ければと考えております。
  - ・高校の取組は良かった。緊急地震速報の説明は最低です。何を言わんとしているかまったくわからない。
  - ・今後、高い確率で発生されると言われる宮城県沖地震に対する心がまえなど、大変参考になった。
  - ・非常によかったと思います。防災教育において民間でできることは何かを考えるいい機会となりました。
  - ・現場の学校の先生の参加が必要と感じた。
  - ・トリアージ訓練の実践に対し興味をいただきました。釜石の取組みが早い(緊急地震速報)また防災未然防止の為に資金投資が必要と感じました。
  - ・地域、学校、行政では各々防災訓練等行われているのは感じられます。地域の中の企業参加はまだまだ少ないように思う。積極的に企業も地域防災に取り組む必要性を感じました。
  - ・一般の方が参加しやすい、休日(土、日等)に開催した方がよいかもしれません。
  - ・学校、行政、地域の連携については、市、県とも早急なる協議が必要であると思った。(福島県も同様)
  - ・開催時期をもう少し考えるべき。
  - ・理解できた。この様な機会をより多く開催希望。防災と教育、いかに難しいか理解できた。身の回りから努力したい。
  - ・防災教育基本指針の内容等が理解出来ましたが、まだ完全な様ではないので急いで、いろいろなマニュアル等を作成してほしい。
  - ・テーマが明確でわかり易く、テーマに沿って、基調講演やパネルディスカッションが進行されていて、とても良い内容であり、これからの防災を考え取組む上での参考になったと思います。今村先生のご講演の中で「生まれ変わる防災教育」という言葉があり、生涯教育の中で、驚き！納得！気づき！そして最後に「思いやり！」とありましたがとても意味深い言葉だと思います。
  - ・それぞれの方の本音、考え方が聞けてよかった。
  - ・各パネリストの方々はその立場を基に話をしましたが、各市、県、国での連絡がどこかで切れていて本来の考えが届かない事を感じました。(太いパイプを作る必要と思います)
  - ・次は、企業で行う防災教育の取組事例についてで紹介頂けませんか。
  - ・時間が短かすぎる(1時間半では何もまとまらない)・1日かけて行っても良いと思う。・2回目、3回目・・・と継続してもらいたい。
  - ・新しい防災教育の内容、また現状等を理解することができ、非常に有意義でした。新聞を見た感じでは、学校教育に於ける防災教育とはわからずに参加した。教育段階でまだここに居たのかとびっくりさせられた。宮城沖地震から、31年経過してもずっと効果的な段階にあるはずと思っていたので、まったく実効的な事が行われていなかった事にガッカリした。
  - ・もっと具体的に防災に対する準備事項の説明がほしい(備品類/防災に対する教育事項)
  - ・町内会役員ですが、町内全体の防災意識の向上に努力している話。防災についての社会への教育を更に充実。
  - ・宮城県は、神戸市や東京都と比較して、実践型の研修が少ないと思います。フォーラムをいくらやっても実践には役立たないと思います。
  - ・地域等のボランティア指導員の教育指導を願いたい。
- 仙台市にありますが、現在指導員とは思えない。現在不足している。

- ・同じ地域の行政の方や他業種の方と交流が図れると良かった。
- ・防災教育は、現在だけでなく、教育を受けた子供が大人になった場合に大きな力になると感じた。
- ・もう少し深い内容であれば良かった。

## 現在、あなたが取組んでおられる防災教育の内容 (概要)

- ・社内で規程を作り、共有を図ると共に実際の訓練も併せて行っている。(火災、地震)
- ・特に現在はない
- ・鉄を生産しているので、天災後の二次災害をいかに防ぐかを中心に考えている。各工場でもパトロール等定期的に行っている。会社にも安全担当、安全専任がいるので教育等行っている。
- ・民間防災教育
  - ・自主防衛組織に対する育成、訓練の実施。
  - ・自宅に高度利用の緊急地震速報を付けており、月に1回以上避難訓練をしている。
  - ・自主防災組織の中で、共助コミュニティ。ただ、昼間の発生において高齢者のみの地域になったときの対策が問題なので、どう進めるか悩んでおります。
- ・学校と地域
  - ・大学で近隣の方に出来ること(水の配給業)を検討し、今後実施に向けた活動をしている。
  - ・現在は防災訓練のみで具体的教育は実践していない。
  - ・社員を災害から守る意識が弱いと感じました。
  - ・減災の手法として・・・日常的な生活のなかで(24時間高齢者(現役)、勤め人、旅行者全員全員被災者との立場からときほぐさなければ具体性がなくなる)行政では余りとりあげない事柄(国交省、厚労省などから指摘されて初めて取組んだ等を主とした民生を源としたもの。)避難時には・・・道路の型状また、冠水時の側溝、表示(水害)、マンホールの状況。
  - ・訓練については、習熟訓練とする。いそがずあわてず協調を主眼とし、指導。避難所に安全にたどりつくこと旨とする。
  - ・災害時の想定した備品準備。シート、ロープ、照明関係、燃料(レンタン、ガスetc)、工具、水etc(家族を中心とした諸準備)
  - ・専用端末を用いた、緊急地震速報への対応。
- ・4月～耐震について
  - ・町内での防災組織が未活動の為、新たに組織等の活動マニュアル等の作成に取り組んでいます。
  - ・家庭での防災と地域への協力。
  - ・孫達に地震・津波について話をしています。
  - ・「社内報」での防災知識の付与・講師を依頼しての講話の開催・実践的マニュアルとなるよう見直し(阪神・淡路の具体的事例・対応を下敷きとして)
  - ・災害時の行動指針、(心がまえ)上場内のKYT教育(避難経路/確保)
  - ・自主防災対策に関する町内会のレベルアップを実施中。
  - ・防災意識の向上。防災教育の実践。
- ・地区(行政区)の自主防災訓練
  - ・消火訓練(防災訓練)、避難訓練、連絡網の点検、対策本部の立ち上げ(地震対応訓練)
  - ・一般的な地震発生の際の身の守り方くらいです。
  - ・高校生に、クロスロードという防災アクティビティを行っています。・地学教員のなかまで防災の教材づくりもしています。(今はプレゼン資料のみ)

## これから防災教育への取組みを考えておられる方の内容 (概要)

- ・地域(町内会)で今年取り組んでいく予定です。
- それぞれの地域町内によって問題点があると思うのでキメ細やかなチェックシート等で点検確認できる様に進めたい。
- ・1人1人が心から取組める防災教育を行うか。
- ・教育機関と十分に調整を図っていただき、学校での時間設定をもうけてほしい。
- ・登下校時発生した場合の対策
- ・学生や教職員の防災に対する関心をどうやって持たせるかを考えている。
- ・会社としての取組みに於いても社内教育実践活動を密着させる事が最大の目的。
- ・一昨年、県、多賀城市(460万円の支出とか)と共働で防災訓練を実施したが、内容はプロによる。只の展示訓練ではないかと私だけが感じたことでしょうか？それはそれとして参考にはなったが一区民として地域が取組むには異和感があつた。安全に避難する。(火災発生時には初期消火、冷却)
- ・現在は防災訓練のみ定期的行っております。今後は合せて防災(地震)訓練にも重点を置き教育訓練を行っていきたい。簡単な冊子を準備しての意識教育を進めたい。
- ・防災教育の必要性と効果をもう少しアピールすべき。
- ・隣近所の連継した防災対応コミュニケーションに不安。大人の意識秒く、子供達を中心とした近隣同志の助け合い運動の必要性を強化。
- ・サバイバル。生き抜く力。
- ・社員と家族。
- ・地域とのかかわり、各家庭との連携のしかた。
- ・いつも思うのですが、各団体から資料だされているのですが統一に資料がひとつだけあればいいのではないのでしょうか。
- ・専門家をもっと活用すべき。「講義+実働」を1セットにして実施すべき

## その他、防災教育に関するご質問やご意見があれば自由にお書きください (概要)

- ・ゆとり教育が廃止され、授業時間が増加する学校教育の場で人々との関わりあい、助け合いを取り入れて指導して欲しい。
- ・学校などでは父兄参観などの時に実施することも家庭で考える機会となり、効果が増すのでは。
- ・今回参加させて頂き、今後更に地域との連携をつくっていく必要があると思います。
- ・理系の考えより文系の考え方で取組んだほうが良いのでは？
- ・地域コミュニティー作りが非常に難しいので、地域コミュニティー作りの成功例を発信してほしい。
- ・本日は大変参考になり、かつ、防災を常に考えていなければならないと思います。大変ありがとうございました。
- ・緊急避難所に避難 - 地区民の確認(避難路の確認)、行政との調整、情報の掌握 - 共有。(一人締めにししない)事前に区民の生活内容の把握・・・病人、その状態、医師、薬、ペットの飼育、ケージの有無・・・乱雑に記ましたのでご明察お願いします。
- ・防火訓練並みに、各企業へも防災(地震)訓練へも力を注ぐ様に、行政からも指導が必要と思われます。企業内指導者の育成も必要と考えます。
- ・塩釜市在住するも、情報があまりにも少ない。公的なPRを盛んに取り組むべき。
- ・もっと早く始めてほしかったです。
- ・防災が自然を畏れ、恐怖や不安におののく気持の現れに終わっては少し悲しい気がします。防災意識の前に自然を愛し、自然を畏敬する気持ちがあって、その上での防災でありたいと私は願っています。今村先生の「思いやり!」は、人々に対して、地域に対して、さらに自然に対してではないでしょうか。
- ・例えば、(適当でないかも分かりませんが)戦前の様な組織を作って連携を強化する。
- ・今回、学校、県、市、国の代表者集まったことには意味があると思います。中心となる人(団体)があって、緊急時には一連の連携がとれるシステムを各団体の意識をこえて動くことができるようになればいいと思います。